SAmC Study Group:
Sustainable Archives for Media & Cultures
UCRC, Osaka City University

SAmC 第１回研究会のお知らせ

日時：２００８年８月２５日　午後２時～５時

場所：大阪市立大学文化交流センター　小セミナー室

大阪市北区梅田1-2-2-600　大阪駅前第2ビル6階　（TEL06-6344-5425）
http://www.lit.osaka-cu.ac.jp/user/ishita/2007/bunko.htm

アクセス：大阪市営地下鉄　四つ橋線「西梅田」7A、谷町線「東梅田」8、
御堂筋線「梅田」南、JR　各線「大阪」中央口　東西線「北新地」東口

報告　西兼志さん（東京大学ＣＯＥ特任研究員）

報告タイトル「アーカイブ時代における公共性の再構築の可能性をめぐって」

Ｅ・オーグ『世界最大デジタル映像アーカイブ　ＩＮＡ』（白水社）の訳者であり、コミュニケーション論の立場から独自の研究を進めておられる西兼志さんに、フランス国立視聴覚研究所（ＩＮＡ）の理念および最新情報、Ｂ・スティグレール（ポンピドゥーセンター所長）の重要概念・活動などについての紹介をまじえながら、公共性の再構築可能性についてご報告いただきます。

持続可能な文化アーカイブ研究会（ＳＡｍＣ研）　設立の趣旨

当研究会は「持続可能な文化アーカイブの構築」を第一の目的に掲げ、写真・映画・テレビ・アニメーション・ポスター・ビラ・マンガ・ゲーム・ファッション・ホームビデオなどの消費文化財、ビジュアル文化を中心とした「20世紀型・日常メディアの文化」の収集と研究資料としての分類法の確立を目指すものです。日常メディアの文化は、社会的記憶の装置として、「戦争と映像の世紀＝20世紀」の人類の経験の容れものとして、世界中で注目を集めている重要な資料であり、文化のグローバル化と資料保存の電子化の時代を迎えて、今後ますます研究価値・保存収集の機運が高まっていくものと予想されます。こうした研究上の関心を共有するメディア文化研究者のみなさまのご参加をお待ちしています。

問い合わせ：石田佐恵子（ishita@lit.osaka-cu.ac.jp)